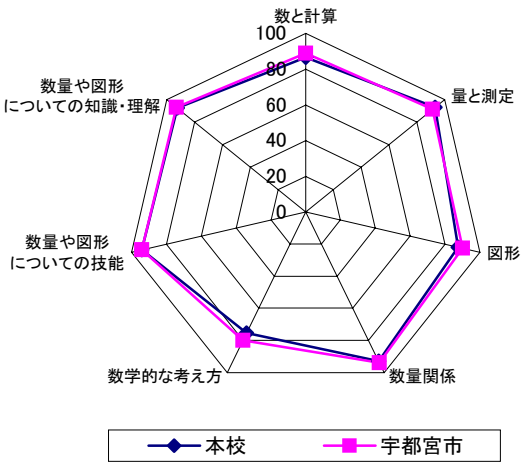


宇都宮市立宝木小学校第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	86.6	88.9
	量と測定	93.2	91.5
	図形	87.7	90.1
	数量関係	93.1	93.9
観点別	数学的な考え方	75.4	79.9
	数量や図形についての技能	94.1	94.1
	数量や図形についての知識・理解	92.5	93.1



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (86.6%)	・分数の乗法、分数の乗法の文章題に関する設問の正答率は市平均とほとんど変わらないが、やや除法の問いに対して苦手意識があった。	・かけ算九九、暗算による割り算といった、基礎的な計算の積み重ねが不十分な児童には、それぞれの意味を理解させるように復習させながら指導したい。また、ドリル学習で一層習熟を図りたい。 ・分数の乗法の文章題の立式において、約4割の児童が除法の立式をした。文章問題に使われる数値が整数、分数、小数のどれであっても、問題文を読み解く手立てを普段の授業で説明しながら、正しく立式できる力をつけていきたい。
量と測定 (93.2%)	・円の面積、角柱・円柱の体積に関する設問の正答率が市平均を大いに上回っている。 ・道のりや速さを求める設問の正答率も市平均を上回っている。	・直方体の体積の求め方、速さを求める問題については、考え方をよく理解させる。また、公式を覚えさせ、正しく使えるように繰り返し練習問題を解くなどして習熟を図りたい。 ・道のりや速さを求める設問に対しては、さらに興味を持って取り組めるように自主学習等を薦めていきたい。
図形 (87.7%)	・角柱・円柱に関する設問の正答率は大いに市平均を上回った。対称な図形の問題では、点対称に関する設問で正答率が市平均をやや下回った。	・対称な図形の線対称・線対称の図形に関する設問に苦手意識があるので、類題を繰り返し練習し、習熟を図りたい。
数量関係 (93.1%)	・文字を使った立式、文字の値、比例のグラフ、反比例の式に関する設問の正答率は市平均をやや下回った。	・文字を使った式では、正しく立式できるようにし、簡単な計算でも余白に補助計算をして答えを求めるような学習訓練を積み重ねる。